



みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

## あきらめない補聴器選び

### ●補聴器に関するよくある話やイメージ

- ・高価な補聴器を購入したが使っていない。
- ・最初だけ使って今は使っていない。
- ・つけ始めて、すぐ限界を感じてこんなものかと諦めた。
- ・タンヌや引き出しに収納したまま。

こんなことにならないためにはどうしたらいいか。  
そのためには自身の聞こえを知ること。

- どんな時に困るか。 > 年齢が上がったからか。 > 耳鼻科等で診断してもらう。  
果たしてそれだけか。 > その際は言葉の聞き取りも併せて行う。

#### I. 補聴器選びと調整

- ・その場で合わせた調整は、日常の使用場面との「差」がでる。
- ・使い始めと、徐々に慣れてきたときとでは、調整も変わる。
- ・補聴器の調整は、使う人と調整側との二人三脚で行う。

ここまでがきちんとなされていない方はあきらめてはいけません。

聞こえもリハビリが大切という流れになってきています。

#### 《聴覚リハビリテーション》

#### II. 補聴器トレーニング まずは目標3か月 難聴の脳（音の刺激 小）

補聴器をつける

うるさい・雑音・不快

目標を変える = 音(会話・物音)に慣れる  
トレーニングを行う

#### III. サポートセンターでの困りごと、悩み相談

- ・補聴器をつけるべきか
- ・今持っている補聴器がうまく調整されていない
- ・補聴器の電池切れ、水に濡れた

等の相談はまずサポートセンターへ。言語聴覚士が対応します。  
そのうえで耳鼻科医師、補聴器店との連絡、紹介を行います。

サポートセンター主催で行った九州リオン・リオネットセンター佐賀の安達認定補聴器技能者の講演内容です。聴講情報 (3/5)



- はじめは数時間 → 半日 → 1日と徐々に伸ばす  
常時つけないと脳は変化しない。

3か月を目安に継続する。  
途中でやめると脳は変化しません。  
まずは目標3か月

#### 簡単トレーニングのポイント

- ・休んでいた脳を刺激するのでうるさくてあたりまえ
  - ・静かな場所から徐々に行く
  - ・音読による声のフィードバックを行う
  - ・お風呂や就寝時は外す
  - ・音声を脳へ届けて理解力を上げる
- 《最初の1か月は特にガンバリましょう》

## 役に立つ 新シリーズ【11】

第11回は補聴器を外出時しか使っていない事例です。

### 補聴器でも言われている言葉がわからない。

補聴器を装着しても言われている言葉がわからないという相談です。物音や騒音はわかるが、言葉がうまく聞き取れないというのです。補聴器の効果がどのくらい出ているか調べたところ、聞こえに必要な音の大きさが不足していました。購入してから調整はほとんど行っていないとのことで、せっかく補聴器を持っているのに現状の聞こえに適合していない状況です。



### 外出時だけ使用。

日常の使用状況を確認すると、特に大事な用事がある外出時だけ使用されています。「補聴器は価格が高いので特別な時だけつけるものだ」と考えておられます。音が聞こえてこない状態に長く慣れてしまった難聴の脳にとって、最初から十分な音量はともつらいものです。これは寒い時、ぬるいお湯に手を入れると熱く感じることに似ています。従って必要な音量まで段階的に上げていくことが重要です。補聴器の音に慣れないと、言葉の聞き取り能力も向上しにくいのです。



### 正しく調整された補聴器を毎日使う。

補聴器を使う上で大事な点は、

- ・用事がなくても、毎朝起きたら補聴器をつける
- ・定期的に補聴器店に行って調整し、必要な音を段階的に上げていく

補聴器は購入するだけでは聞こえるようにはなりません。正しく調整された補聴器を毎日使い続けることで、徐々に言葉の聞き取り能力が改善されていきます。

## コロナウイルス 5類移行後の 感染者療養のポイント (4/14)

1. 発症翌日から 5日間は外出自粛を推奨
2. 5日目も症状が続く場合は熱が下がるなどしてから 24時間程度経過するまで延長
3. 発症後 10日間はマスク着用を推奨
4. 児童生徒の学校の出席停止期間は、発症から5日間が経過し、かつ症状軽快後1日を経過するまで
5. 自宅療養するかどうかは個人の判断に委ねる



## 講座スタート

### ●高校福祉コースの手話奉仕員 養成講座開講 2校

今年度から新たに始まった佐賀女子高校は2年生11人、3年生20人の開講式が4月14日、多久高校では5年目の開講式が4月19日、21名でありました。例年より男子が増加しています。

### ●センター講座

手話通訳者養成講座Ⅰ 15名、Ⅱ 5名が4月9日、統一試験対策講座7名が4月22日ありました。ろう者を雇用している企業等の手話講座4名が4月15日ありました。气象台、久光製薬等。

### ●PC 要約筆記

遠隔・実践コース3名が4月1日から始まりました。要約筆記養成講座修了者を対象に前ロールや遠隔での練習法、UDトークの修正などを学びます。

### ●巡回聴こえの相談 (予約制)

5月23日(火) 10:00~15:00

佐賀市東与賀町 保健福祉センター 2階会議室

6月21日(水) 10:00~15:00

みやき町 コミュニティセンター こすもす館

7月26日(水) 10:00~15:00

唐津市 障害者支援センター りんく

募集中!



### ●みみサポーター養成講座 (先着10名)

加齢性難聴とコミュニケーション方法や情報保障について学びます。

6月30日(金)・7月14日(金)・7月28日(金)  
10:00~12:00 全3回 サポートセンター



編集後記：急に暑くなりました。体調管理に気をつけたいと思います。㊦

## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

### <開館時間>

9:30 ~ 18:00

### <閉館日>

毎週月曜日、祝日